

この度の東日本大震災により、犠牲になられた方がたとご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。

また、被害にあわれた方がたに、謹んでお見舞い申し上げます。

BFSニュースレター

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

2011年5月6日発行

Vo1. 24, 第24号

このニュースレターの主な掲載情報:

- グローバルな政治・経済、マーケットの最新情報や分析見通し
- BFSのサービス、実際のトピックス、ケーススタディ
- 資産運用や人生設計に役立つ情報
- 知っておくと得するホットな情報

人生の航海図 ライフプランを作りましょう!

皆さん、海図なき航海を想像してみましょう。これは、恐ろしいですね。ライフプランがない人生は、この海図なき航海をしているといってもいいのです。そして、ほとんどの人がこのライフプランがないまま、人生を送っているのが実態です。

漠然とした不安もライフプランで解消

現在のような世の中では、世相やさまざまなできごと、日本の厳しい情勢からも、私たちは心理的に大きな影響を受けます。「なんとなく不安」というもやもやした気持ちをもっている人は、きっと多いはず。そこで、ライフプランをつくり、先行きの見通しが見えやすくなると、ライフプランがよりどころになり、気持ち的にも大変安心できるようになるのです。



ライフプランはどうして必要か

40代までの人は、「退職するまでに、いくら老後資金を作るか」を目標に、ぜひライフプランを作成しておくべきです。これから年金支給が後倒しになったり、支給額が減額になったりする可能性が大変強くなってきており、いわゆる「自分年金」(自家製年金)は非常に重要になります。国の年金など、あてにならないと考えておく方が無難です。

50代以降の人は、退職後死ぬまでを

見据えて、豊かで安心した生活を送ることができるか、死ぬまでお金がなくなるかをつかむことが、大切なポイントになってきます。これからは、ますます長生きの時代です。いまから40年もすれば、100歳がいまの90歳くらいの寿命になってくることでしょう。

「死ぬまでお金が持つか」は、非常に重要なことなのです!

ライフプランでこんなことがわかる。

ライフプランを作りますと、資産運用を早く始めるのと、あとになって始めるのでは、どれだけの違いになるかがよくわかったり、運用利回りが違うと、20年、30年たつと、お金のたまり具合がどう違ってくるのかなどが、一目瞭然です。

また、ライフプランを作ろうと思えば、「一体、いまいくら使っているか」をつかまなければなりません。これが、皆さん、意外ととんぶり勘定なのです。ライフプランを作るときに、「支出額が把握できる」いい機会にもなるのです。また、ライフプランにさまざまな支出額を落とし込むと、「ちょっと多すぎる」とか「ここは削ろう」とか、支出額に手を打てるようにもなります。

支出額の見直しに関連して、さまざまな保険があります。ライフプランを作るときには、どういう保険に入っていて、いくら払っているか、定期か終身か、年齢に引き合わせてそれを払うのが必要かというような検討もできます。ライフプランを作る際に、初めて保険の内容を知ったというようなケースもあります。

-2ページに続く

体の健康は精神の健康から

2人に1人が発症し、3人に1人の死因とされるガンは、強いストレスが引き金となっていることは、よく指摘されることです。さまざまなストレスを引き起こすことが多い私たちの周囲の環境の中で、心の健康を保つことは、なかなか容易なことではありません。

そこで考えて見ますと、心の健康を保つようにするのは、この「自分」だということに気づくのです。心の健康を保てるか否かは、自分次第、心の健康が害されるのも自分がもたらすものということです。

ここで大事なことが、さまざまなことに対して自分がどう受け止めるかということです。受け止め方、捉え方によって、心の状態が影響を受けるといってもよいでしょう。「くよくよするか、悩むか、落ち込むか、怒るか、妬むか」あるいは「困難に立ち向かおうとするか、前向きに解決策を考えるか、楽観的に解釈するか、怒りを抑えるか、自分ももっと頑張ろうとするか」によって、心の状態はずいぶん違ったものになるでしょう。



自分がどう受け止めるか、人間はどうしても悲観的、マイナス思考に陥る傾向があるようです。そこを意識して楽観的、前向き思考にもっていくことができるのは、自分です。

精神とは、自ら生の中に切り入る生である。
-ニーチェ

今月の言葉:

・子貢問うて曰わく、一言にして以て終身これを行なうべきものありや。子曰わく、其れ恕(じょ)か。おのれの欲せざる所、人に施すこと勿かれ。
-論語 (注) 恕-思いやり



弊社から皆様への情報提供ソース:

びとうファイナンシャルサービス公式ホームページ

<http://www.bfsc.jp>

びとうファイナンシャルサービス公式ブログ

<http://ameblo.jp/bitofinancialservice/>

毎週3分で、資産運用の成功へ導くメルマガ!

<http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

書評ブログ-平日毎日更新

<http://blog.goo.ne.jp/dreamct-1>

第5回『人生を安心して生きるための金融資産運用セミナー』開催のご案内!

～参加無料 限定10名～

日時: 2011年5月28日(土) 15:00～17:00

場所: TKP東京駅丸の内会議室ミーティングルームC

(日比谷帝劇ビル地下1階) <http://tkpteigeki.net/access/index.shtml>

(最寄り駅: 有楽町・日比谷駅)

講師: 尾藤 峰男 びとうファイナンシャルサービス代表取締役

申し込みは、下記メールまたは電話にて「5月28日セミナー参加希望」として、お名前とご連絡先をお知らせください。

E-メール: info@bfsc.jp Tel: 03-6721-8386

Web サイトもご覧ください

<http://www.bfsc.jp>

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)
代表取締役 尾藤 峰男

〒105-0022
東京都港区海岸1-2-20
汐留ビルディング3階

電話: 03-6721-8386
携帯: 090-4934-3121
FAX: 050-3156-1072
電子メール: info@bfsc.jp

お客様の人生に豊かさを、心に安心とゆとりを
—びとうファイナンシャルサービスの大切な役割

人生の航海図 ライフプランを作りましょう!

あらためて支払っている保険料を知って驚くということもあります。年間50万円以上の保険料を払っていても、特に意識しないのです。また、毎年のごととして決まりごとのように20年も30年も必要のない保険料を支払い続けてしまうという怖さがあるのが、保険です。ライフプランを作ると、保険の見直しまでできるというメリットがあるのです。その削減額が、1年で数十万円ということも珍しくありません。

ライフプランは死ぬまでのロードマップですから、70歳の時、80歳の時、90歳の時にはお金がどうなっているか、いまから、プラン上の途中経過がわかります。これは大きな安心につながります。

さらに長い年月がたちますと、インフレの影響が甚大になってきます。いまのお金の金額で、20年後も同じということはありません。ライフプランを作れば、インフレを加味したキャッシュフローがわかります。

ライフプランで、様々な問題が浮かび上がる

ライフプランを検討していると、収入、支出、運用などいろいろな角度から見ていきますので、たとえば、支出額だけでなく、退職の時期をいつにしたらいいか、長い老後のことを考えると

退職後も少し働いたほうがいいのかとか、不動産も有効活用したほうがいいのかということなど、さまざまな課題や問題が浮かんできます。

また、特別の支出、たとえば、子供への結婚資金の援助、自宅のリフォーム、自動車の5年ごとの購入、贈与などが、どうライフプランに影響を及ぼすかなど、数字を入れてみるとすぐわかります。

資産運用にもライフプランはプラスに働く

資産運用の面からの大きなメリットは、目先でお金の運用を見なくなることです。退職までとか、死ぬまでとかになると、必然的に大河の流れをみるように、長い目で見るようになるのです。信用取引や外為取引をやって、ライフプランでのお金の運用をしようというのは、なじみません。信用取引や外為取引をしなくなるということにもつながるかもしれません。

退職までどう老後の資金を作っていくか、あるいは、これから退職するが、老後の生活をどうしたら安心してゆとりを持って過ごしていけるか、いずれの場合でも、ライフプランは大きな味方になります。お金の面での人生のロードマップ、ライフプランは、ぜひ一度作ってみることをおすすめします。

